

## News Release

2013年2月7日

〒103-8247

東京都中央区日本橋1-4-1  
日本橋一丁目ビルディング  
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社

### モザンビーク向けガスパイプライン用 26 インチ電縫鋼管 2 万 3 千トン受注

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社（本社：東京都中央区、社長：牛野健一郎）は、南アフリカ共和国の総合エネルギー企業最大手である SASOL（サソール）社がモザンビークで展開する ROMPCO（ロンプロコ）プロジェクト(\*1)向けに、API5L X70 グレード(\*2)で外径 26 インチのパイプライン用高強度電縫鋼管約 2 万 3 千トンを、JFE スチール株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林田英治、以下 JFE）と共同で受注しました。

ROMPCO プロジェクトは、モザンビークにおけるガス需要に応じるため、同国内で産出される天然ガスを各需要家へ輸送する目的で敷設されるパイプライン建設プロジェクトです。今回受注した電縫鋼管はガス需要の増加に伴うルーピング(\*3)建設の第 1 フェーズ約 130km に使用され、これによりテマネからレサノガルシア地区（マプト北西部）へのガス供給が可能となります。

当社と JFE は、JFE の製造実績及びそれを支えてきた最先端の鋼管製造技術・品質への高い信頼性に、当社のパイプラインビジネスにおける幾多の経験を通じて培われた商社機能を活かし、長年に亘り世界中の様々なパイプラインプロジェクトに高級鋼管を供給して参りました。SASOL 社には共同で 2001～2002 年に 26 インチ電縫鋼管を約 10 万トン供給しており、今回の受注も過去の納入実績における技術・品質・サービスが評価されたものといえます。

当社は、今後とも鋼管をはじめとする高機能・高品質な鋼材商品の提供を通じて、世界の資源・エネルギー開発に貢献して参ります。

尚、当社は、サブサハラ地域(\*4)における広範な鋼材需要を捕捉し取引拡大に結び付けるべく、同地域の拠点として南アフリカ共和国・ヨハネスブルク支店を開設済みです。

